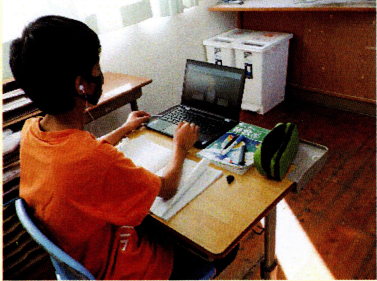



第5学年及び第6学年の授業の手立てと児童の反応

手立て	児童の反応
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の課題を解決する意欲を高めるために、中学校の内容とのつながりについて中学校の数学の先生に説明してもらった動画を学習が始まる前に見せた。(6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の課題を解決しようとする意欲が高まった  <p>【タブレットで動画を見る様子】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のノートを写真にとってJamboardで共有し、話し合わせることで考えを深めさせた。(5年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の考えを聞くことで、理解が深まり、発表の仕方について分かりやすかったなどの気づきを伝えることができた。  <p>【タブレットで説明する児童の様子】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りの時間で習熟のためにキュビナを使って復習させた。(6年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キュビナを使うことで、本時の学習で学んだことが使えるかどうかを確認することができた。

授業の成果と課題

(1) 成果

- 掲示物や動画などで前時までの振り返りをするすることで、本時の課題に向けて見通しをもち、自分の考えを書くことができた。
- 友達と意見を交流するためにICTを活用することで、話し合いの中で、発表の仕方のよさについて気付いたり、理解を深めたりすることができた。

(2) 課題

- 「全体の合計」や「全体の個数」について、問題に取り組む前におさえておく必要がある。
- キュビナを活用するときは、間違えたときに解説をていねいに読ませる習慣を身に付けさせる。

研究の成果と課題

(1) 成果

- 事前研で、様々な意見を出し合いながら授業を作ることができた。
- 話し合いではJamboard、振り返りではForm、学年の発達段階に応じてどの方法を活用するかなど、様々なICTの活用の仕方について整理を進めることができた。
- ICTを活用することにより、児童が主体的に学ぶ姿が見られた。
- 全体的には、CRTテストで全国平均以上の学力を身に付けつつある。

(2) 課題

- 個別に見ると学力が不十分な児童もいるので、間違えた児童への手立てや説明の活用など、キュビナの取り組ませ方を工夫し、児童がより確実に学力を身に付けられるようにする。
- ICTは、研究授業だからこそそのチャレンジもよいが、手段として普段の授業で継続していけるような活用法を知ることができるとよい。